

(様式－1)

申請日 年 月 日

日本メンテナンス工業会事務局宛

西暦にて記載ください

表彰申請書（メンテナンス技術賞 記入例）

1. 申請会社名：（□は「レ」を記入のこと）

会社名	: 略称ではなく、正式名を記載ください	☐ 正会員 / ☐ 賛助会員
住所	: 住所は、都道府県より記載ください	いずれかにレをお願いします。
代表者	: 代表者は、勤務先の代表者又は所属長などの経営管理職としてください。	
連絡担当者	: 所属・役職より記載ください。また、以下はご担当者のご連絡先を記載ください。	
(TEL)	(FAX)	(E-Mail)

2. 申請事案名称および対象区分（対象項目に「●」【1項目のみ】を記入のこと）

申請事案名称	: 申請事案の概要が分かる名称を端的に記載ください。		
同一企業内申請順位	: (位) 【対象区分全体の順位で記入のこと】		
対象区分	☐ メンテナンスマイスター賞 ☐ メンテナンススペシャリスト賞 ☒ メンテナンス技術賞（システム、工法、ツール等） ☐ メンテナンス奨励・普及賞	複数エントリーの場合、 貴社内での全体順位を記 載ください。	

3. 申請事案の概要（事案内容、功績・業績を簡潔に記載のこと。資料添付のこと）

★メンテナンス技術賞に値することを示す技術内容（プラントメンテナンス分野で作業合理化、安全性向上に寄与した技術）について、 内容、功績、業績等を端的に記載してください。 内容を分かりやすく説明する資料を作成の上、エビデンスとして添付してください。

※1：事業内容、功績・業績を簡潔に記載し、内容のわかる資料を添付のこと。審査の必要に応じて、申請後資料の提出をお願いする場合もあります。

4. 表彰候補者（□は「レ」を記入のこと）

ふりがな				
会社名 ※1	略称ではなく、正式名を記載ください			
会社住所	〒 住所は、都道府県より記載ください			
所属部署				
ふりがな				
氏名 ※2	チーム・団体の場合は代表者を記入し、多数の場合は別紙に追加してください。			☐ 男 / ☐ 女
年齢（申請時）	() 歳			いずれかにレをお願いします。
現在の業務・作業内容				
経験年数	※申請事案に関わる延べ実務経験年数を記載ください。			
職歴	主な業務・作業内容	期間		
		年～	年	
		年～	年	
		年～	年	
		年～	年	

※1：正会員・賛助会員企業以外の場合は、所属企業の業務内容・分野・規模・人員等の企業 紹介資料を添付のこと。

※2：チーム・団体の場合は代表者を記入し、多数の場合は別紙に追加

5. 保有資格（国家資格、公的資格、民間資格、国際資格等）

名称	職 種	合格年月日または発行年月日	エビデンスNo.
正式名称にて記載ください。		年 月 日	※番号を付番
申請事案に関わる保有資格を記載ください。		西暦にて記載ください。 ※可能な限りエビデンスに記載さ れている年月日を記載ください。	

※1： メンテナンス技術賞申請については記載不要

※2：資格保有を示すエビデンスを可能な範囲で提出下さい。社内認定制度についても社内規定等、内容、レベル等が判断できる資料を提出ください

6. 表彰歴

名称		表彰組織・団体	表彰年月日				エビデンスNo.
正式名称にて記載ください。			年	月	日		※番号を付番
			年	月	日		
			年	月	日		
申請事案に関わる表彰歴をを記載ください。		正式名称にて記載ください。	年	月	日		
			年	月	日		
			年	月	日		

※ 1：メンテナンス技術申請については、表彰対象技術の表彰歴を記載のこと

※ 2：可能な範囲で、表彰概要を示すエビデンスを提出下さい。社内表彰制度についても社内規定等、内容、レベル等が判断できる資料を提出ください

7. 申請会社記入欄（推薦理由：申請元評価表【様式－2】を主体に記載のこと）

申請元評価表【様式－2】に記載された内容より、メンテナンス技術賞として推薦する理由のポイントを明確に記載ください。
特に、技術的に秀でた部分をわかりやすく記載願います。

※提出していただいた資料は審査以外の目的のためには使用しません。

※申請事案 1 件毎に申請書を作成する。

「事務局記入欄」

1. 事務局受付日

:

年

月

日

(受付番号:

)

2. 審査年月日

:

年

月

日

申請元評価表

1. 申請事案名称	(様式1)の申請事案名称と同じ内容を記載してください。
2. 申請会社名（略称ではなく正式名）	(様式1)の申請会社名と同じ内容を記載してください。
3. 表彰候補者名	(様式1)の表彰候補者名と同じ内容を記載してください。
4. 対象区分	☐ メンテナンスマイスター賞
	☐ メンテナンススペシャリスト賞
	☒ メンテナンス技術賞（システム、工法、ツール等）
	☐ メンテナンス奨励・普及賞

「評価の内容」

評価項目		評価*5	評価の内容（根拠）*4	エビデンスNo.
技能レベル*1	難易度			
	卓越度		※メンテナンス技術賞については非該当（記載不要）	
	模範度			
技術レベル*2	革新性		技術賞候補技術が、既存技術（商品、システム、論文等）に対してより新しいと言える技術の内容を具体的に記載してください。	左記を説明するエビデンスを必ず添付して下さい
	優位性		技術賞候補技術が、既存技術（商品、システム、論文等）に対して 新技術が優位と判断する根拠 を具体的に記載してください。	左記を説明するエビデンスを必ず添付して下さい
	実現性		技術賞候補技術が実現する可能性、又は実現しての特許取得等の実績を具体的に記載してください。	左記を説明するエビデンスを必ず添付して下さい
教育・育成*3	指導力	3項目の総合評価として記載ください	技術賞候補として、社内外における若手等への教育・育成への取り組み（方法、対象、範囲等）の中で、特に指導力を発揮していると思われる事例等があれば、具体的な内容とともに記載してください。	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい
	難易度		上記の教育・育成を行う上での難しさとそれに対する対応方法を具体的な内容とともに記載してください。（ex.外国人労働者対応、学生への技術啓蒙など）	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい
	普及度		技術賞候補者の教育・育成の実績（社内外問わず）と成果（受講者の成果:ex.資格取得、競技会入賞など）、PRすべき項目があれば、具体的な内容とともに記載してください。	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい
効果・貢献度			高度なメンテナンス技術を駆使して、メンテナンスの高度化に寄与した技術者、チーム、団体が、所属する企業、産業界、及び社会に対する貢献度等において高く評価されているような代表的な実績を具体的に記載ください。	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい
業績・実績			技術賞候補として、当該技術により達成した（達成が期待される）収益性（改善、伸長度）、販売（導入）数、実績勲章、褒章、表彰（社内表彰制度）等の実績があれば、具体的な内容とともに記載ください。	左記を説明するエビデンスを可能な範囲で添付して下さい

*1：メンテナンス技術賞については非該当

*2：メンテナンスマイスター賞については非該当

*3：メンテナンススペシャリスト賞については非該当

*4：評価の内容（根拠）については評価の着眼点を具体的に記入願います。（別紙1 参照）

※評価の内容（根拠）を説明するエビデンスをNo.を記載の上、別途、提出願います。

*5：評価は普通から非常に優れているまで1点から5点までの5段階で記入願います。

- 5：非常に優れている
- 4：優れている
- 3：標準的なレベル
- 2：やや劣る
- 1：劣る